

ましこ世間遺産一覧

No.	世間遺産の名称	申請団体	場所
53	どんど焼き（上大羽） や かみおおば	上大羽自治会	大字上大羽
54	八坂神社祇園祭（益子祇園祭・天王祭） やさかじんじゃぎおんさい ましこぎおんさい てんのうさい	鹿島神社総代会	大字益子
55	本郷稲荷山神社 ほんごういなりやまじんじゃ	稲荷山神社講中	大字山本
56	お不動様と不動尊祭り ふどうさま ふどうそんまつ	星の宮自治会	大字塙
57	どんど焼き（星の宮） や ほし みや	星の宮自治会	大字塙

認定No.53 どんと焼き（上大羽）

申請団体 上大羽自治会

一時中断していたが、正月行事であるどんと焼きを懐かしむ古老の呼びかけがあり、子供会育成会が事業主体となり昭和 50 年代後半に復活した。

子供会育成会の会員減少に伴い、竹、篠、茅などの材料準備、建ちあげの負担増などから自治会が行っており、育成会は当日の賄を担当している。

正月飾りや古いお札を燃やしながら、燃え盛る炎にあたって 1 年の無病息災を願い、年頭のあいさつを交わし、温かい軽食を摂るなど地域の風物詩となっている。



認定No.54 八坂神社祇園祭（益子祇園祭・天王祭）

申請団体 鹿島神社総代会

八坂神社は鹿島神社境内末社として鎮座しており、祇園祭（天王祭）は毎年 7 月 23 日から 25 日の 3 日間にわたって行われている。

7 月 23 日 八坂神社より、その年の当番町（自治会）御仮屋まで御分霊をした御霊を本社神輿で渡御する。

7 月 24 日 当番町・当家にて関東の三大奇祭、御神酒頂戴おみきちやうだいしき式が斎行される。

7 月 25 日 当番町御仮屋より、本社神輿の還御祭かんぎよさいを遂行し、午後から、花馬を先頭に各町屋台山車の合同運行を開催する。午後 10 時には祭りのフィナーレとして御上覧神事ごじやうらんしんじを斎行し、屋台・山車の宮入りとなる。



認定No.55 本郷稲荷山神社

申請団体 稲荷山神社講中

山本稲荷神社古墳の上に鎮座する、朱色の鳥居や御社が鮮やかな神社である。

毎年2月には初午祭が行われ、光明寺住職によるご祈祷、^{なおらい}直会等が行われている。初午祭では、藁を束ねて作った^{わらづと}藁苞にしもつかれやお赤飯を入れて

てお供えをしているという。この付近にはもともと数基の小古墳が存在したが、山本稲荷神社古墳は現存する唯一の古墳であり、石室も確認することができる。



認定No.56 お不動様と不動尊祭り

申請団体 星の宮自治会

江戸末期に創建された田野の光明寺の末寺として不動院が創られたが、具体的な年月日は記録されておらず、廃寺となった年も定かではない。座像は、江戸時代に下野国内で最も活発に造仏活動を行った一門である高田家の7代、運秀によってつくられたといわれている。

明治34年、現在地に益子小学校星の宮分校が建てられた後より、不動堂と不動尊祭りは氏子が守り続け現在に至っている。



認定No.57 どんと焼き（星の宮）

申請団体 星の宮自治会

どんと焼きが始まった時期については定かではないが、子供会が結成された後、育成会の主催で40年近く行われてきた。令和元年より主催は成人部へ変更となり、現在は正月飾りやお札を燃やしながら、1年の無病息災を願う新年の地域の行事として定着している。

